

平成27年度 特別展

キリスト教王国を夢見た大友宗麟

フランシスコ・ザビエルと出会い、キリシタン大名「ドン・フランシスコ」となった大友宗麟。彼の保護の下、大分県ではキリシタン文化が開花しました。特に府内は、教会、コレジオ（宣教師養成学校）、病院、育児院などが建てられ、町中には異国情緒豊かな雰囲気が漂っていました。やがて布教が広まるにつれ、多くの信者が聖母マリア等の聖画やメダイ、十字架などの信心具を渴望するようになり、その需要に応えるため、聖画や信心具は日本国内でも作られるようになりました。こうした中、ついに宗麟は日向の国にキリスト教の理想郷「ムシカ」の建設を目指します。しかし、その夢は島津氏との攻防によりむなしく潰え、さらに彼の死に呼応するように、伴天連追放令が出されるなど情勢は大きく変わり、ついには江戸時代の禁教へと向かっていきました。

こうしたキリシタン文化の研究は、これまで主にキリスト教学、文献史学、美術史学等の分野からなされてきました。しかし、近年考古学的発掘調査によってキリシタン遺物やキリシタン墓が確認されるようになり、さらに、資料の理化学分析も可能となって、新たな視点からの研究が可能となってきました。本展ではキリシタン文化の変容について、学際的研究を通し明らかにします。



洋風女性図
[堺市博物館]



ヴェロニカのメダイ
[大分県教育庁理蔵文化財センター]

展示構成

- プロローグ — ザビエルとの出会い —
- 第1章 — 花開いた大分のキリシタン文化 —
- 第2章 — キリシタン文化が生んだ美術工芸品 —
- 第3章 — 宗麟前後のキリシタン文化の変容 —
キリシタン研究の新視点 ～学問のコラボレーション～
- エピローグ — キリスト教の禁教 —

主な展示資料

- ローマから贈られた聖遺物 ザビエルの皮膚の一部 (大分トラスチ修道院)※博物館初公開
- ブランシウス世界図 (神戸市立博物館)※大分駅前広場の地上絵
- 南蛮屏風 (堺市博物館)※重要美術品
- 丹生出土資料 (長崎 日本二十六聖人記念館)※県指定
- サンチャゴの鐘 (竹田 中川神社)※国重文
- 洋風女性図 (堺市博物館)
- 螺鈿蒔絵花樹鳥文聖龕 (長崎歴史文化博物館)
- 蒔絵螺鈿聖者像聖龕 (太平洋セメント株式会社 津久見市寄託)
- 茨木・千提寺伝世キリシタン遺物 (茨木 個人)
- 平戸伝世キリシタン資料 (平戸 個人ほか)
- 天草伝世キリシタン資料 (天草キリシタン館・天草ロザリオ館)
- 「INRI」銘入り石製四面線刻罪標十字架碑 (波佐見町教育委員会)
- 救世主像 (東京大学総合図書館)
- 千光寺跡出土 田原礼幡 キリシタン墓碑 (四条畷市教育委員会)※府指定
- 「BASTIAN」キリシタン墓碑 (大村市教育委員会)※県指定
- 「INRI」銘入石造物 (臼杵市教育委員会)
- 真鍮製踏絵 (東京国立博物館)※国重文
- 崎津教会所蔵キリシタン資料 (カトリック崎津教会)
- 各遺跡出土キリシタン遺物 (大分県・大分市・福岡市・北九州市・長崎県・長崎市・南島原市)
- グレゴリオ聖歌譜 (大分市歴史資料館)
- 豊後国諸検地帳 (大分県立先哲史料館)※県指定

記念講座・シンポジウム

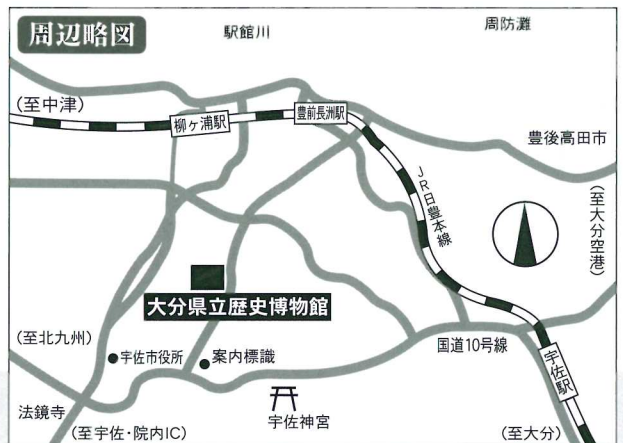
〈日時〉平成27年10月31日(土) 13:00～17:00
〈会場〉大分県立歴史博物館講堂

- 記念講座「キリシタン史における大分の位置」
[講師] 五野井 隆史 (東京大学名誉教授)
- シンポジウム「キリシタン文化の新視点」
[コーディネーター] 平尾 良光 (別府大学客員教授)
[パネラー]
五野井 隆史 (東京大学名誉教授) 大津 祐司 (大分県立先哲史料館主幹研究員)
浅野 ひとみ (長崎純心大学教授) 後藤 晃一 (大分県立歴史博物館主幹研究員)
大石 一久 (元長崎歴史文化博物館Gリーダー)

関連講座

〈日時〉平成27年11月14日(土) 13:30～15:00
〈会場〉大分県立歴史博物館講堂

- 「特別展みどころ解説」
[講師] 後藤 晃一 (大分県立歴史博物館主幹研究員)



- 東九州自動車道「宇佐IC」より12分、「院内IC」より15分
- JR柳ヶ浦駅から車で5分、JR宇佐駅から車で10分
- バス停「大分歴史博物館前」下車 ※土・日・祝日のみ運行

大分県立歴史博物館 (宇佐風土記の丘)

〒872-0101 大分県宇佐市大字高森字京塚
TEL 0978-37-2100 FAX 0978-37-2101
E-mail a31702@pref.oita.lg.jp http://kyouiku.oita-ed.jp/rekishihakubutukan-b/



Facebookは
コチラから